



対ベトナム「初等義務教育・ミズノヘキサスロン運動プログラム」導入普及促進事業

社会課題

- ・ 同国では、急激な経済成長に伴う生活レベルの向上を受け、子供の肥満が急増しており、将来、肥満による糖尿、不整脈などの健康被害のリスクが高まることが懸念される。
- ・ 同国の義務教育期間における体育授業は合計430時間である。ベトナムの就学率を考慮すると、総人口の約55%はこれが生涯の主な運動時間となり、これは先進国における生涯総運動時間の約10分の1となる。
- ・ 体育授業プログラムが画一的で、運動施設も整っていない。

事業機会

- ・ 同国では、2022年以降に、約40数年ぶりに初等義務教育における「学習指導要領」の改訂とその本格運用開始が予定されている。
- ・ ミズノが提案する運動プログラムの普及は、スポーツ関連ビジネスの新たな市場創出に加え、日本の魅力ある教育を海外展開していく機運の醸成にもつながる。

Action Plan:2014年～今

実態調査
戦略策定

パートナー選定
普及・啓蒙

実証実施
招聘・研修

協力覚書締結

プログラム本格導入

現地小学校でのデモ授業やセミナー実施

現地小学校で、体育教師に向けた研修や小学生が参加するデモ授業による普及・実証活動を実施する。多様な動作を育む日本の体育教育や、同社の運動プログラムへの現地の理解・支持を広げるとともに、政府に対してより説得的な提案を行うため、同プログラム導入による身体機能の変化に関するデータを収集する。

協力覚書締結

ミズノは、ベトナム教育訓練省と、2018年10月8日、両国首相の前で、ミズノヘキサスロン運動プログラムを新学習指導要領に採用する旨を盛り込んだ「協力覚書」を締結した。



「学習指導要領 採用」からマネタイズへ

現在、ミズノは、コロナ危機のベトナムで、現地教育系出版社と協力覚書を締結し、持続的な教員養成の促進とSDGsビジネスの収益化に向けた活動を全力で実施している。



事業期間

2014年2月～2023年12月31日

3参加企業

ミズノ株式会社

パートナー

ベトナム教育訓練省、教育科学研究所(教育訓練省の傘下組織)、MIDOMAX(ミズノのベトナム代理店)他

最終目的

1. 初等教育における体育授業の課題解決
2. ベトナムの子供の健康増進および体力向上

事業目的

1. ミズノが開発した運動プログラム「ヘキサスロン」をベトナム初等義務教育・新学習指導要領への採用導入
2. スポーツ関連ビジネスの新たな市場創出とベトナムにおける事業の拡大

手段

1. 教育科学研究所と連携・協力に関する協定締結
2. 現地小学校で導入普及に向けたデモ授業実施
3. 教育訓練省と協力覚書締結

具体的内容

- 専門家派遣 実証実施 イベント出展
- パートナー招聘 関連省庁への働きかけ